

献血のあゆみ

—平成29年度版—



平成29年度東海北陸ブロック血液センター主催「第6回 献血ポスターコンペティション」
三重県赤十字血液センター所長賞 作者 三重県立飯野高等学校 小野 颯太 様



日本赤十字社
Japanese Red Cross Society

三重県赤十字血液センター

はじめに

平素より、血液事業の推進につきましては深いご理解ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。
献血者の皆様方並びに、三重県、各市町及び医療機関、献血協力団体の皆様に支えられ、当三重県赤十字血液センターは開設53年目を迎えることができました。

平成29年度におきましては55,808人(対前年度比99.4%)の献血協力をいただき、県内の医療機関に供給した血液製剤は179,737単位(対前年度比104.2%)で県内における必要な血液製剤を安定供給することができました。

県民の皆様のご理解、ご協力に深く感謝申し上げます。

平成30年度におきましても、東海北陸ブロック7県における広域的な需要予測を踏まえ、県内で必要な血液は県内で賄うことを原則として、県・市町及び各協力団体の皆様とさらに連携を深めながら献血者確保に努めてまいります。

現在、少子高齢化等の社会情勢の変化に伴い、将来における血液製剤の安定確保が大きな課題となっております。そこで、未来の献血基盤となる若年層への献血推進を図る施策として、三重県ならびに三重県教育委員会の協力のもと平成26年度から、高校献血セミナーを実施しております。

平成29年度におきましても高校生の皆様を始め、中学生、大学生、新入社員等の若い世代を中心に14,156人の方々に献血セミナーを聴講していただき、献血、輸血についての知識の普及啓発と献血に触れ合う機会づくりを進めてきました。

その結果、お陰様を持ちまして10代の献血者数は2,005人(対前年度比121.8%)で、前年を359人上回るご協力をいただくことができ、献血を未来に繋いで行く大きな手応えを感じております。

今後につきましても、高等学校や大学での校内献血の推進はもとより、小中学生も対象としたセミナーもさらに拡大し、将来に向けた積極的な取り組みを進めていきますので、皆様のご理解、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

平成30年7月吉日

三重県赤十字血液センター
所長 岡田 昌彦



目次

「献血から供給まで(平成29年4月～平成30年3月)」	1
「三重県の献血者の推移」「三重県の輸血用血液製剤供給の推移」	2
「三重県の年代別献血者数」「三重県の400mL献血率」	3
「三重県の市町別献血状況」	4
「三重県の居住地別献血状況」	5
「表彰」	6
「若年層献血者確保対策事業」	8
「三重県学生献血推進連盟 みえっち の活動」	9
「献血の基準」	10
「沿革」	11



三重県の献血から供給まで

(平成29年4月～平成30年3月)

平成29年度 三重県献血状況

献血から供給まで

献血受付

61,084名

対前年度比 99.5 %

事前
検査

献血者数

55,808名

対前年度比 99.4 %

製
剤
・
検
査

検 査

製 剤

製
品
化

血液供給

(県内)
179,737単位

対前年度比 104.2%

献血ができなかった人 5,276 名

対受付者数 8.6 %

	男性	女性	計	対前年度比
Hb不足	595	1,677	2,272	110.8%
その他	1,926	1,078	3,004	93.4%
計	2,521	2,755	5,276	100.2%

※ Hb=血色素量

献血初回者数 : 3,740人 (対実献血者 12.9%)

実献血者数 : 29,030人 (1年間に献血1回→18,515人、2回→6,331人、3回以上→4,184人)

延献血者は県民総人口の 3.1 %

実献血者は県民総人口の 1.6 %

全国の献血は国民総人口の約3.7%

☆種類別献血者数

種 別	全血献血		成分献血			合 計
	400mL	200mL	血漿成分	血小板成分	成分計	
献血者数	32,054	510	13,822	9,422	23,244	55,808
献血構成比	57.4%	0.9%			41.7%	100%
成分構成比⇒			59.5%	40.5%		

☆施設別献血者数

施設 種類	献血バス	血 液 センター	伊 勢 ルーフ	四日市 ルーフ	合 計	対前年度比
400mL	24,176	1,970	2,938	2,970	32,054	97.6%
200mL	0	107	137	266	510	300.0%
成 分	0	6,605	7,028	9,611	23,244	100.5%
合 計	24,176	8,682	10,103	12,847	55,808	99.4%
対前年比	98.0%	101.7%	99.3%	100.7%	99.4%	
成分内訳	血漿成分	3,562	4,072	6,188		
	血小板成分	3,043	2,956	3,423		
	計	6,605	7,028	9,611		

検査不合格者 717 人 (献血者数の1.3%)

研究・廃棄等

☆検査不合格内訳 (※複数項目該当者有)

梅 毒	HBs抗原	HBc抗体	HCV抗体	肝機能	不規則抗体	その他
41	5	91	16	337	32	211

☆原料血漿送付内訳

血漿製剤	合 計
目標量(ℓ)約	12,573
送付量(ℓ)約	13,966
達成率	111.1%

☆輸血用血液内訳(200mL換算)

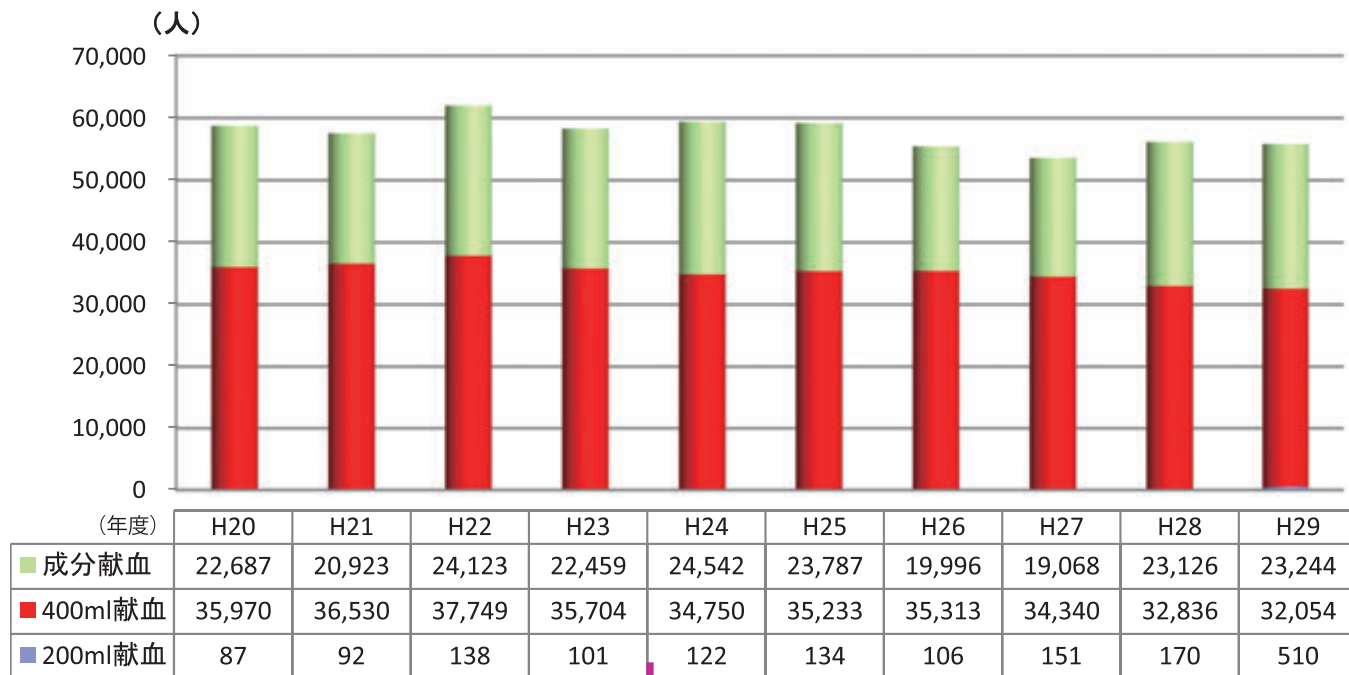
製剤種類	供給単位	対前年度比
全血製剤	0	0.0%
赤血球製剤	61,401	102.3%
血漿製剤	23,171	98.7%
血小板製剤	95,165	106.8%
合 計	179,737	104.2%
(県内供給)		

※H29年度から血漿製剤の単位換算は、FFP-LR120を1単位、FFP-LR240を2単位、FFP-LR480を4単位として算出
※H28年度の血漿製剤供給単位については、H29年度の単位換算で算出したものを対前年度比に適用





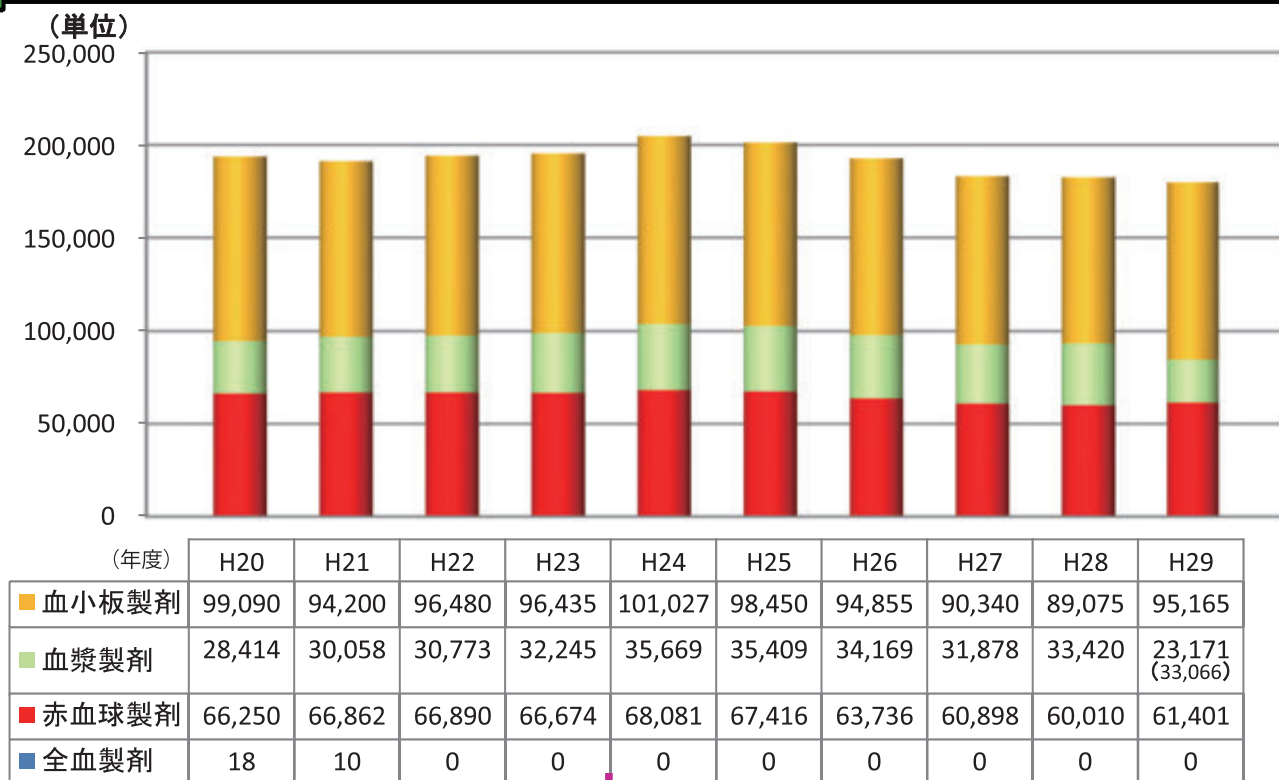
三重県の献血者の推移



東海北陸ブロック血液センター事業開始



三重県の輸血用血液製剤供給の推移

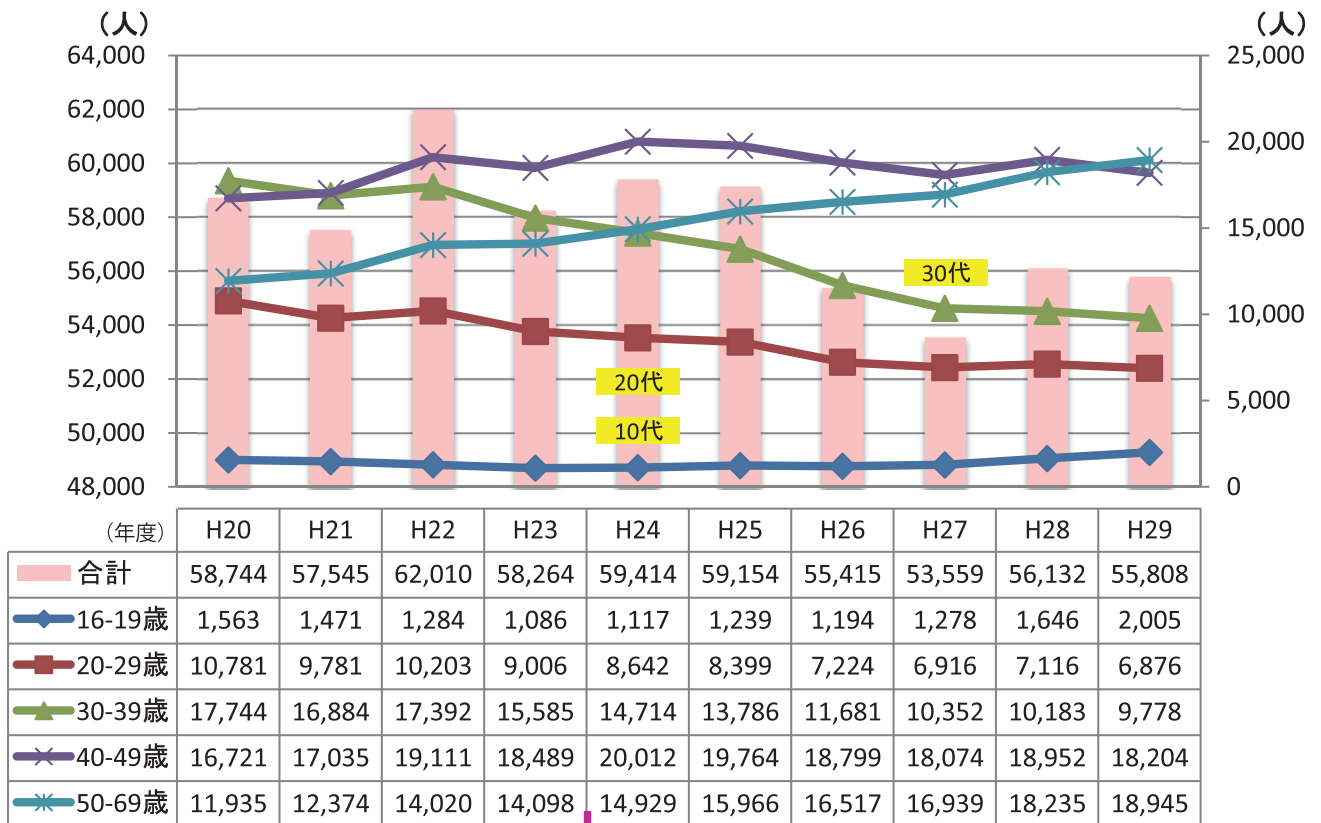


東海北陸ブロック血液センター事業開始

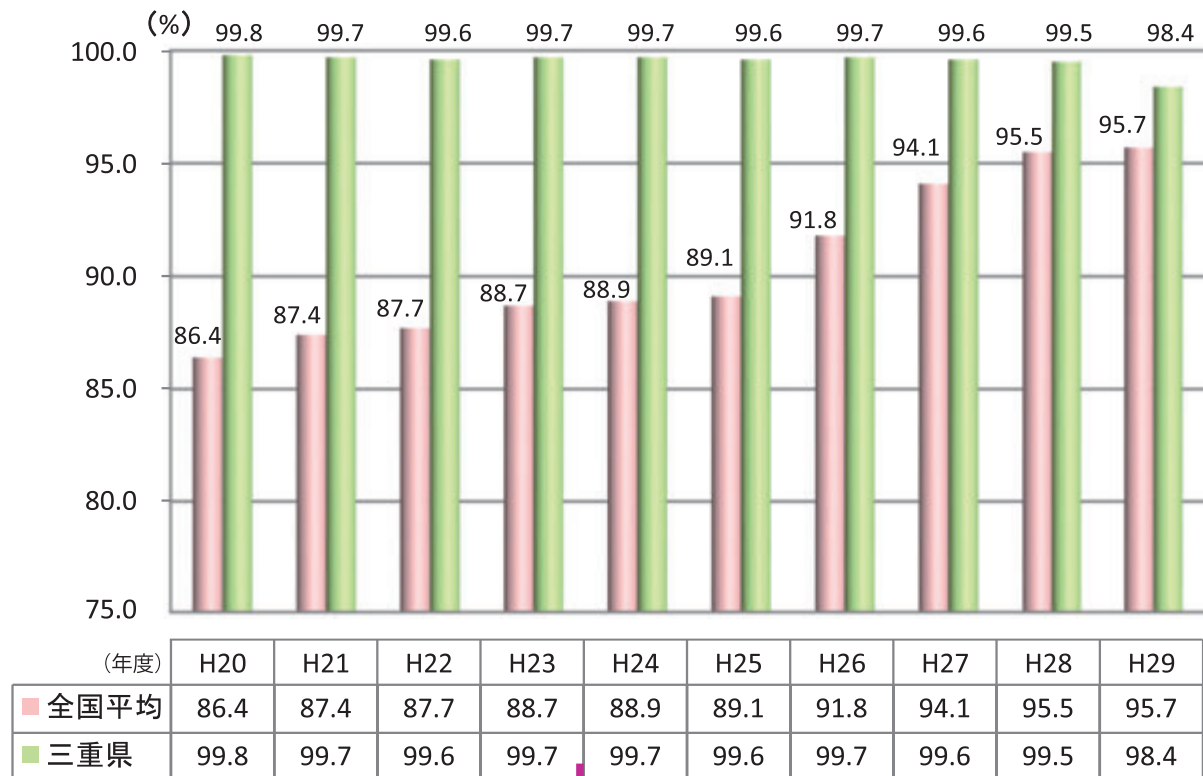
※ () 内の数字は平成28年度までの換算方法による単位数



三重県の年代別献血者数



三重県の400mL献血率





三重県の市町別献血状況

(平成29年4月～平成30年3月)

(人)

市 町 名	献血者数				稼働数※	1稼働あたりの献血者	400mL献血率	献血者対前年比
	400mL	200mL	成 分	計				
桑 名 市	1,559	0		1,559	35.6	43.8	100.0%	115.9%
い な べ 市	605	0		605	15.3	39.5	100.0%	83.2%
桑名郡 木曽岬町	68	0		68	1.6	42.5	100.0%	89.5%
員弁郡 東 員 町	410	0		410	8.7	47.1	100.0%	95.8%
三 重 郡	菰 野 町	447	0	447	10.2	43.8	100.0%	107.2%
	朝 日 町	172	0	172	4.3	40.0	100.0%	97.2%
	川 越 町	210	0	210	5.6	37.5	100.0%	107.1%
桑名保健所管内	3,471	0		3,471	81.3	42.7	100.0%	103.1%
四 日 市 市	4,490	0		4,490	105.3	42.6	100.0%	99.4%
四日市市保健所管内	4,490	0		4,490	105.3	42.6	100.0%	99.4%
鈴 鹿 市	3,863	0		3,863	84.9	45.5	100.0%	91.8%
亀 山 市	805	0		805	19.5	41.3	100.0%	95.2%
鈴鹿保健所管内	4,668	0		4,668	104.4	44.7	100.0%	92.4%
津 市	3,490	0		3,490	80.8	43.2	100.0%	91.2%
津保健所管内	3,490	0		3,490	80.8	43.2	100.0%	91.2%
松 阪 市	2,203	0		2,203	52.4	42.0	100.0%	112.4%
多 気 郡	多 気 町	189	0	189	3.9	48.5	100.0%	108.6%
	明 和 町	155	0	155	4.1	37.8	100.0%	102.6%
	大 台 町	120	0	120	2.5	48.0	100.0%	126.3%
松阪保健所管内	2,667	0		2,667	62.9	42.4	100.0%	112.1%
伊 勢 市	1,296	0		1,296	35.2	36.8	100.0%	95.9%
鳥 羽 市	203	0		203	5.7	35.6	100.0%	86.8%
志 摩 市	234	0		234	6.0	39.0	100.0%	92.1%
度 会 郡	玉 城 町	492	0	492	8.9	55.3	100.0%	93.4%
	度 会 町	33	0	33	0.8	41.3	100.0%	206.3%
	南伊勢町	103	0	103	3.0	34.3	100.0%	119.8%
	大 紀 町	68	0	68	1.7	40.0	100.0%	90.7%
伊勢保健所管内	2,429	0		2,429	61.3	39.6	100.0%	95.5%
伊 賀 市	1,661	0		1,661	34.6	48.0	100.0%	98.0%
名 張 市	554	0		554	14.4	38.5	100.0%	106.7%
伊賀保健所管内	2,215	0		2,215	49.0	45.2	100.0%	100.0%
尾 鷲 市	233	0		233	6.0	38.8	100.0%	116.5%
北牟婁郡 紀 北 町	153	0		153	4.0	38.3	100.0%	93.9%
尾鷲保健所管内	386	0		386	10.0	38.6	100.0%	106.3%
熊 野 市	192	0		192	6.0	32.0	100.0%	85.7%
南牟婁郡	御 浜 町	78	0	78	2.0	39.0	100.0%	94.0%
	紀 宝 町	90	0	90	2.0	45.0	100.0%	100.0%
熊野保健所管内	360	0		360	10.0	36.0	100.0%	90.7%
献血数及び配車回数計 (バス)	24,176	0		24,176	565.0	42.8	100.0%	98.0%
血 液 セ ン タ ー	1,970	107	6,605	8,682	308	28.2	22.7%	101.7%
四 日 市 ル ー ム	2,970	266	9,611	12,847	310	41.4	23.1%	100.7%
伊 勢 ル ー ム	2,938	137	7,028	10,103	309	32.7	29.1%	99.3%
ル ー ム 計	7,878	510	23,244	31,632	927	34.1	24.9%	100.5%
総 計	32,054	510	23,244	55,808	1,492	37.4	57.4%	99.4%

※稼働数とは、市町では献血バス稼働数、固定施設では開設数を指す
 ※稼働献血開催場所別の集計データです。



三重県の居住地別献血状況

(平成29年4月～平成30年3月)

(人)

市 町 名		献血者数				構成比		
		400mL	200mL	成分献血	計	400mL%	200mL%	成 分 %
桑 名 市		1,746	40	1,047	2,833	61.6%	1.4%	37.0%
い な べ 市		701	2	313	1,016	69.0%	0.2%	30.8%
桑名郡	木曽岬町	47	0	0	47	100.0%	0.0%	0.0%
員弁郡	東 員 町	358	9	126	493	72.6%	1.8%	25.6%
三 重 郡	菰 野 町	642	18	329	989	64.9%	1.8%	33.3%
	朝 日 町	199	1	171	371	53.6%	0.3%	46.1%
	川 越 町	271	9	212	492	55.1%	1.8%	43.1%
桑名保健所管内		3,964	79	2,198	6,241	63.5%	1.3%	35.2%
四 日 市 市		5,297	142	5,296	10,735	49.3%	1.3%	49.3%
四日市市保健所管内		5,297	142	5,296	10,735	49.3%	1.3%	49.3%
鈴 鹿 市		3,516	40	2,075	5,631	62.4%	0.7%	36.8%
亀 山 市		996	11	441	1,448	68.8%	0.8%	30.5%
鈴鹿保健所管内		4,512	51	2,516	7,079	63.7%	0.7%	35.5%
津 市		4,669	67	4,158	8,894	52.5%	0.8%	46.8%
津保健所管内		4,669	67	4,158	8,894	52.5%	0.8%	46.8%
松 阪 市		2,846	19	1,402	4,267	66.7%	0.4%	32.9%
多 気 郡	多 気 町	277	1	133	411	67.4%	0.2%	32.4%
	明 和 町	455	5	518	978	46.5%	0.5%	53.0%
	大 台 町	169	0	67	236	71.6%	0.0%	28.4%
松阪保健所管内		3,747	25	2,120	5,892	63.6%	0.1%	36.0%
伊 勢 市		2,879	91	3,764	6,734	42.8%	1.4%	55.9%
鳥 羽 市		369	6	266	641	57.6%	0.9%	41.5%
志 摩 市		603	23	620	1,246	48.4%	1.8%	49.8%
度 会 郡	玉 城 町	358	4	280	642	55.8%	0.6%	43.6%
	度 会 町	187	1	180	368	50.8%	0.3%	48.9%
	南伊勢町	200	3	161	364	54.9%	0.8%	44.2%
	大 紀 町	125	0	77	202	61.9%	0.0%	38.1%
伊勢保健所管内		4,721	128	5,348	10,197	46.3%	1.3%	52.4%
伊 賀 市		1,501	6	225	1,732	86.7%	0.3%	13.0%
名 張 市		836	3	96	935	89.4%	0.3%	10.3%
伊賀保健所管内		2,337	9	321	2,667	87.6%	0.3%	12.0%
尾 鷲 市		233	1	38	272	85.7%	0.4%	14.0%
北牟婁郡	紀 北 町	187	1	38	226	82.7%	0.4%	16.8%
尾鷲保健所管内		420	2	76	498	84.3%	0.4%	15.3%
熊 野 市		160	0	32	192	83.3%	0.0%	16.7%
南牟婁郡	御 浜 町	92	0	10	102	90.2%	0.0%	9.8%
	紀 宝 町	94	0	13	107	87.9%	0.0%	12.1%
熊野保健所管内		346	0	55	401	86.3%	0.0%	13.7%
県 外 在 住 者		2,041	7	1,156	3,204	63.7%	0.2%	36.1%
計		32,054	510	23,244	55,808	57.4%	0.9%	41.6%

※「構成比」は端数処理しているため、合計が必ずしも100%にはならない

※平成30年4月1日時点での献血者の現住所別の集計データです。



表彰

三重県と日本赤十字社三重県支部は、献血運動の一層の推進を目的に「三重県献血功労者表彰式」を開催し、献血にご功労のあった方々を表彰しています。

三重県献血功労者表彰式・・・日時：平成29年8月10日（木）
場所：三重県総合文化センター

■厚生労働大臣表彰状・・・・・・・・3団体

血液事業の推進に関し、過去に大臣感謝状及び知事感謝状を受け、その実績が特に優秀で、他の模範と認められる団体又は個人に贈呈されます。

- ◆朝明ライオンズクラブ
- ◆イオンモール株式会社イオンモール鈴鹿
- ◆松阪商業開発株式会社（松阪ショッピングセンターマーム）

■厚生労働大臣感謝状・・・・・・・・11団体

血液事業の推進に関し、過去に知事感謝状を受け、その実績が特に優秀で、他の模範と認められる団体又は個人に対し贈呈されます。

- ◆イオンモール株式会社イオンモール四日市北
- ◆デンソートリム株式会社
- ◆クノール食品株式会社中部事業所
- ◆三鈴工機株式会社
- ◆株式会社エフ・シー・シー鈴鹿工場
- ◆東洋エアゾール工業株式会社三重工場
- ◆大栄工業グループ
- ◆三重硝子工業株式会社
- ◆THK株式会社三重工場
- ◆シャープ株式会社三重工場
- ◆熊野精工株式会社

■三重県知事表彰・・・・・・・・6団体

献血運動の推進に著しい功績又は血液の確保に多大な功績があった団体又は個人に対し贈呈されます。

- ◆イオンモール株式会社イオンモール東員
- ◆テイ・エス テック株式会社 鈴鹿工場
- ◆旭電器工場株式会社本社工場
- ◆旭電器工業株式会社河芸工場
- ◆カメヤマ株式会社
- ◆一般社団法人 松阪地区薬剤師会

■日本赤十字社社長感謝状・・・・・・・・4団体

金色有功章受賞後、引き続き活動に従事し、その功績が顕著で他の範となるものと認められる場合、当該従事年数が10年に達した都度、贈呈されます。

- ◆DIC株式会社 四日市工場
- ◆株式会社 中村組
- ◆伊勢市消防本部
- ◆パナソニック株式会社エコソリューションズ社津工場



表彰

■ 日本赤十字社有功章

■ 金色有功章 10団体

献血活動継続年数20年以上の献血団体・献血推進団体及び献血推進者に授与されます。

- ◆ 株式会社志摩スペイン村 ◆ ヴァーレ・ジャパン株式会社 ◆ 神宮司廳
- ◆ 株式会社 鳥羽水族館 ◆ 市立伊勢総合病院 ◆ 医療法人 社団主体会 小山田記念温泉病院
- ◆ 株式会社 デザインアーク 三重工場 ◆ 株式会社 三和科学研究所 三重研究パーク
- ◆ 学校法人鈴鹿医療科学大学 ◆ 四日市みたきライオンズクラブ

■ 銀色有功章 8団体

献血活動継続年数15年以上の献血団体・献血推進団体及び献血推進者に授与されます。

- ◆ 三重中央開発株式会社 ◆ 上野キヤノンマテリアル株式会社 ◆ ケイミュー株式会社 伊賀事業所
- ◆ 日本特殊陶業株式会社 伊勢工場 ◆ 松阪地区広域消防組合消防本部 ◆ 三重県鳥羽警察署
- ◆ 株式会社 三鈴エリー ◆ 株式会社 きもと 三重工場 ◆ 三重県四日市西警察署

■ 日本赤十字社三重県支部長感謝状

■ 支部長感謝状(金枠) 4団体

金枠は、過去に銀枠を受け、献血活動継続年数10年以上の献血団体・献血推進団体及び献血推進者に授与されます。

- ◆ アイテック株式会社 ◆ パナソニックデバイス労働組合伊勢支部
- ◆ 株式会社NTN 三重製作所 ◆ ユニー株式会社アピタ伊賀上野店

■ 支部長感謝状(銀枠) 10団体

銀枠は献血活動継続年数5年以上の献血団体・献血推進団体及び献血推進者に授与されます。

- ◆ 学校法人協栄学園 伊勢志摩リハビリテーション専門学校 ◆ 水谷モデル株式会社
- ◆ 日本キャボット・マイクロエレクトロニクス株式会社
- ◆ 株式会社 ミタス伊勢 代表取締役 脇田米丞 ◆ 三重県学生献血推進連盟「みえっち」
- ◆ 株式会社亀山商工会館 ◆ 亀山ライオンズクラブ ◆ 一般社団法人亀山青年会議所
- ◆ ユニー株式会社アピタ鈴鹿店 ◆ ユニー株式会社アピタ名張店



若年層献血者確保対策事業

キッズ献血

3歳以上を対象とした献血の模擬体験イベント
(3月_東員町・イオンモール東員)



献血親子教室

親子で献血について学習
献血バスと綱引き勝負!(8月)



献血セミナー



高校生による献血ふれあい事業 広報パネル&処遇品作成

県内の中学・高校生を対象に
56校で実施



伊賀白鳳高校
工芸デザイン科
デザインコース
2年生による制作

小学生の センター探検

久居農林高校
食品コースの
学生さんによる
手作りクッキーの
プレゼント



南立誠小学校
2年生の授業「町探検」
によるセンター訪問
(6月)



三重県学生献血推進連盟 みえっち の活動



ルームで呼び込み
がんばるよ!(6月)

献血ルームでの呼び込み



サマー献血キャンペーン

夏に負けずにがんばろう!(8月)



クリスマス献血キャンペーン

サンタも献血応援!(12月)



高校生献血推進会議

定例会・総会



キャンペーン企画も熱心!!





献血の基準

献血いただく方の健康を守るために、さまざまな基準を設けています。

採血方法別の採血基準

献血の種類 項 目	全 血 献 血		成 分 献 血	
	200mL 献血	400mL 献血	けっしょう 血漿成分献血	血小板成分献血
1 回献血量	200mL	400mL	600mL 以下 (循環血液量の 12%以内)	
年 齢	16 歳～ 69 歳※1	男性：17 歳～ 69 歳※1 女性：18 歳～ 69 歳※1	18 歳～ 69 歳※1	男性：18 歳～ 69 歳※1 女性：18 歳～ 54 歳
体 重	男性：45kg 以上 女性：40kg 以上	男女とも 50kg 以上	男性：45kg 以上 女性：40kg 以上	
最高血圧	90mmHg 以上			
血色素量 (ヘモグロビン濃度)	男性：12.5g/dL 以上 女性：12.0g/dL 以上	男性：13.0g/dL 以上 女性：12.5g/dL 以上	12.0g/dL 以上 (赤血球指数が標準域にある女性は 11.5g/dL 以上)	12.0g/dL 以上
血小板数	――	――	――	15 万 / μ L 以上
1 年※2 に献血できる回数 (1 年は 52 週として換算)	男性：6 回以内 女性：4 回以内	男性：3 回以内 女性：2 回以内	血小板成分献血 1 回を 2 回分に換算して 血漿成分献血と合計で 24 回以内	
1 年※2 に献血できる 総献血量 (1 年は 52 週として換算)	200mL 献血と 400mL 献血を合わせて 男性：1,200mL 以内 女性：800mL 以内		――	――

採血基準は、献血にご協力いただける方の健康を保護するために、国が定めたもので、採血の実施は、問診結果等を踏まえて総合的に判断します。

※1 65 歳から 69 歳までの方は、60 歳から 64 歳までに献血の経験がある方に限られます。

※2 期間の計算は直近の採血を行った日から起算します。平成 30 年 4 月 1 日より。

献血の間隔

今回の献血 次回の献血	全 血 献 血		成 分 献 血	
	200mL 献血	400mL 献血	血漿成分献血	血小板成分献血※3
200mL 献血	男女とも 4 週間後の同じ 曜日から献血できます	男性は 12 週間後・女性 は 16 週間後の同じ曜日 から献血できます	男女とも 2 週間後の同じ曜日から献血できます	
400mL 献血				
血 漿 成 分 献 血		男女とも 8 週間後の同じ 曜日から献血できます		
血 小 板 成 分 献 血				

採血基準は、献血にご協力いただける方の健康を保護するために、国が定めたもので、採血の実施は、問診結果等を踏まえて総合的に判断します。

※3 血漿を含まない場合には、1 週間後に血小板成分献血が可能になります。ただし、4 週間に 4 回実施した場合には次回までに 4 週間以上あけてください。



沿革

昭和 39 年 08 月	輸血用血液は、献血により確保することを閣議で決定
昭和 39 年 12 月	三重県献血推進協議会発足
昭和 40 年 01 月	三重県伊勢市御園村高向 810 番地山田赤十字病院内に三重県赤十字血液センター開設
昭和 40 年 07 月	津市塔世栄町 1090 の 1 に移転
昭和 43 年 09 月	津市栄町 1 丁目 171 番地に新築移転 (三重県合同ビル)
昭和 43 年 12 月	日本赤十字社名誉副総裁 高松宮妃殿下、三重県赤十字血液センターご視察
昭和 44 年 06 月	四日市市塩浜町 1 番地三重県立塩浜病院内に三重県赤十字血液センター四日市出張所設置
昭和 47 年 04 月	献血者 20 万人目達成
昭和 47 年 04 月	HBs 抗原 (B 型肝炎) 検査開始
昭和 51 年 08 月	三重県赤十字センター四日市出張所廃止
昭和 53 年 05 月	献血者 50 万人目達成
昭和 59 年 08 月	津市桜橋 2 丁目 191 番地に新築移転
昭和 59 年 11 月	献血者 100 万人目達成
昭和 61 年 10 月	AIDS 及び HTLV-1 (エイズ及び成人 T 細胞白血病) 抗体検査開始
昭和 62 年 01 月	400mL 献血及び成分献血開始
平成 元年 02 月	献血者 150 万人目達成
平成 元年 12 月	HCV 抗体・HBc 抗体・HBs 抗体検査開始
平成 02 年 10 月	山田赤十字病院内に献血ルーム「ハートワン」開設
平成 03 年 12 月	骨髓データセンターを血液センター内に設置
平成 04 年 09 月	赤血球 MAP の製造、供給開始
平成 04 年 09 月	中部近鉄百貨店四日市店内に献血ルーム「サンセリテ」開設
平成 05 年 03 月	献血血液 HIV-2 (エイズウイルス 2 型) 抗体検査開始
平成 05 年 11 月	献血者 200 万人目達成
平成 06 年 07 月	日本赤十字社名誉副総裁 皇太子同妃両殿下、三重県赤十字血液センターご視察
平成 06 年 07 月	第 30 回献血運動推進全国大会が三重県で開催
平成 07 年 04 月	赤血球 MAP の有効期限短縮 (42 日間から 21 日間へ)
平成 08 年 09 月	血液検査用検体の凍結保存を開始
平成 09 年 08 月	三重県献血キャラクター愛称「ミドナ」発表
平成 09 年 08 月	ヒトパルボウイルス B-19 検査開始
平成 10 年 06 月	放射線照射血液製剤の供給開始
平成 11 年 04 月	献血年齢の上限が 64 歳から 69 歳に延長 (条件必要)
平成 11 年 05 月	献血者 250 万人目達成
平成 11 年 10 月	ウイルス (HBV,HIV,HCV) を直接検出する核酸増幅 (NAT) 検査開始
平成 11 年 11 月	HTLV-1 抗体検査陽性者への結果通知 (通知希望者のみ) 開始
平成 14 年 07 月	近鉄四日市駅前スターアイランド 4F に献血ルーム「サンセリテ」移転
平成 15 年 04 月	HBc 抗体検査陽性者への結果通知 (通知希望者のみ) 開始
平成 15 年 06 月	血液製剤遡及調査開始
平成 15 年 07 月	安全な血液製剤の安定供給の確保に関する法律が施行
平成 15 年 08 月	血液製剤受注管理システム導入
平成 16 年 10 月	検査目的の献血防止対策の一環として献血受付時の本人確認の実施
平成 16 年 10 月	血小板血液製剤の白血球除去を開始
平成 17 年 08 月	6 ヶ月間 (180 日間) 貯留保管した新鮮凍結血漿を供給開始
平成 18 年 03 月	成分献血由来の新鮮凍結血漿血液製剤の白血球除去を開始
平成 18 年 06 月	献血者 300 万人目達成
平成 18 年 10 月	献血手帳から献血カードに切り替え
平成 18 年 10 月	献血者健康被害救済制度を開始
平成 19 年 01 月	初流血除去対応採血キットの導入
平成 19 年 01 月	全血採血由来保存前白血球除去キットの導入
平成 19 年 05 月	検査部門を愛知センターへ集約化
平成 19 年 11 月	血小板血液製剤の有効期限が 72 時間から 4 日間へ延長
平成 20 年 04 月	感染症検査を CLA 法に変更
平成 21 年 03 月	糖尿病関連検査 (グリコアルブミン検査) のサービス通知開始
平成 21 年 04 月	製剤部門を愛知センターへ集約化
平成 23 年 04 月	400mL 献血が 18 歳から 17 歳 (男性のみ) に緩和
平成 23 年 04 月	血小板献血が 54 歳から 69 歳 (男性のみ) に引き上げ
平成 24 年 02 月	献血ルーム「ハートワン」ミタス伊勢にリニューアルオープン
平成 24 年 04 月	東海北陸ブロック血液センター事業開始 (広域体制化による製造検査等集約化)
平成 24 年 04 月	骨髓バンクデータセンターを東海北陸ブロック血液センターに集約化
平成 24 年 10 月	シャーガス病に対する安全対策の実施
平成 25 年 01 月	「献血の同意説明書」を配布し、同意有無の確認を実施
平成 26 年 08 月	個別検体による NAT (個別 NAT) スクリーニング導入
平成 26 年 11 月	献血者 350 万人目達成
平成 27 年 01 月	三重県赤十字血液センター開設 50 周年
平成 28 年 03 月	高等学校での献血セミナー受講者数が 2 年連続全国第 1 位
平成 29 年 02 月	献血ルーム「ハートワン」5 周年記念式典
平成 29 年 02 月	イオンモール東員にて「LOVE in Action プロジェクト」ご当地イベントの開催
平成 29 年 03 月	成分採血の血しょう採取量の上限が 600mL 以下に変更

献血に行こう!!

10～30代の献血者が激減しています。
若い世代の皆さまのご協力をお待ちしております!



三重県内の献血ルームのご案内



三重県赤十字血液センター

〒514-0003 三重県津市桜橋2丁目191番地 TEL 059-229-3582
0120-05-5632

【受付時間】《全血》9:00～11:45／13:00～16:30

《成分》9:00～11:00／13:00～16:00

【定休日】土曜、年末年始

【交通】JR・近鉄津駅から徒歩約10分

【駐車場】有



献血ルーム ハートワン

〒516-0008 三重県伊勢市船江1丁目471-1
ショッピングセンター「ミタス伊勢」内 TEL 0596-25-7821
0120-25-7821

【受付時間】《全血》10:00～11:45／13:00～17:30

《成分》10:00～11:00／13:00～17:00

【定休日】金曜、年末年始

【交通】JR・近鉄伊勢市駅から徒歩約15分

【駐車場】有（ミタス伊勢内）



献血ルーム サンセリテ

〒510-0086 三重県四日市市諏訪栄町6番地4号
近鉄四日市駅前「スターアイランド」4F TEL 059-355-5863
0120-39-5863

【受付時間】《全血》10:00～11:45／13:00～17:30

《成分》10:00～11:00／13:00～17:00

【定休日】火曜、年末年始

【交通】近鉄四日市駅から徒歩3分

【駐車場】有（くすの木パーキング）